教員名	山野　春子 （YAMANO　Haruko）
所　属	生活科学部食物栄養学科食物栄養学講座
学　位	医学博士 （1982　東京医科歯科大学）
職　名	助手
URL ／ E-mail	yamano@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

食品機能性成分 ／ 腫瘍抑制 ／ 血管新生 ／ 血管内皮増殖因子 （VEGF） ／ VEGF レセプター

◆研究内容

一昨年度まで所属していた生活科学部生活環境学科生活工学講座においては、地球環境の悪化に伴って問題となっている紫外線の影響で増加してきている皮膚障害の予防に関するテーマで研究を行ってきた。その一つとして皮膚障害を予防する目的で開発された、紫外線遮蔽加工製品について、生化学的手法による評価法の開発を進めてきた。

昨年度から同学部食物栄養学科の所属となり、食品の機能性成分に関する研究を企画した。日常の食生活で摂取している食品の中で、これまでに抗変異原性や腫瘍抑制作用を持つとされている食品機能性成分について、血管新生に対する作用を検討する。血管新生はがんの増大や転移の主要な原因となり、がん治療の大きな障害となっているため、この血管新生を抑制する効果をもつ食品機能性成分を、動物の血管内皮培養細胞を用いて探索する。

◆教育内容

学部の教育については、前期は食物栄養学科 3 年生の「食品微生物学実験」、「食品製造学・保存学実験」、「食品化学実験」 （いずれも受講生 36 名）の実験準備ならびに指導補助、提出レポートの添削補助を担当した。後期は同 2 年生の「分析化学実験」、「一般化学実験」(いずれも受講生 37 名）の実験準備ならびに指導補助を行った。

4 年生については、所属研究室に在籍する学生 （4 名）に対し、読書会やゼミでの文献紹介および研究報告に対するディスカッションを通して卒業論文の指導補助を行った。

大学院の教育については、所属する研究室に在籍する大学院生 （5 名）に対し、学部 4 年生と同様の方法で修士論文の指導補助を行った。

また、ライフサイエンス専攻食物科学コース・栄養科学コース 2 年生全員の修士論文要旨集ならびに生活科学部食物科学講座 4 年生全員の卒業論文要旨集の編集、製本を行った。さらに卒業論文発表会の会場設営などの準備を行い、卒業論文発表会および修士論文審査会に出席し意見交換を行った。

◆Research Pursuits

My research topic is the suppressive effect of bioactive food components on vascularization.

◆共同研究可能テーマ

・生活習慣病予防に効果のある食品機能性成分の研究
・血管新生に関する研究

◆将来の研究計画・研究の展望

がんの増大や転移の主要な原因である、血管新生を抑制する食品機能性成分を探索し、その作用機構を分子生物学的に解明したいと考えている。

◆受験生等へのメッセージ

最近、食品関連分野の企業や食物学科の大学教員の募集要項に「管理栄養士の資格を持つ者」と明記されている場合が多く見受けられます。本学科は国立大学法人の女子大学では、唯一の管理栄養士養成機関となっています。本学で学び国家試験に合格して、卒業後は社会で幅広く活躍されることを期待しています。また、管理栄養士資格を取得したうえで大学院へ進学し、より高い能力を身につけ、企業や研究所の研究員あるいは大学の教員など、専門性の高い分野でも大いに活躍されることを期待しています。